



医療法人徳洲会

札幌東徳洲会病院 広報誌

PUBLIC  
RELATIONS  
MAGAZINE

# すこやか

SAPPORO HIGASHI TOKUSHUKAI HOSPITAL

VOL. 236

2025年夏号 8▶10

特集

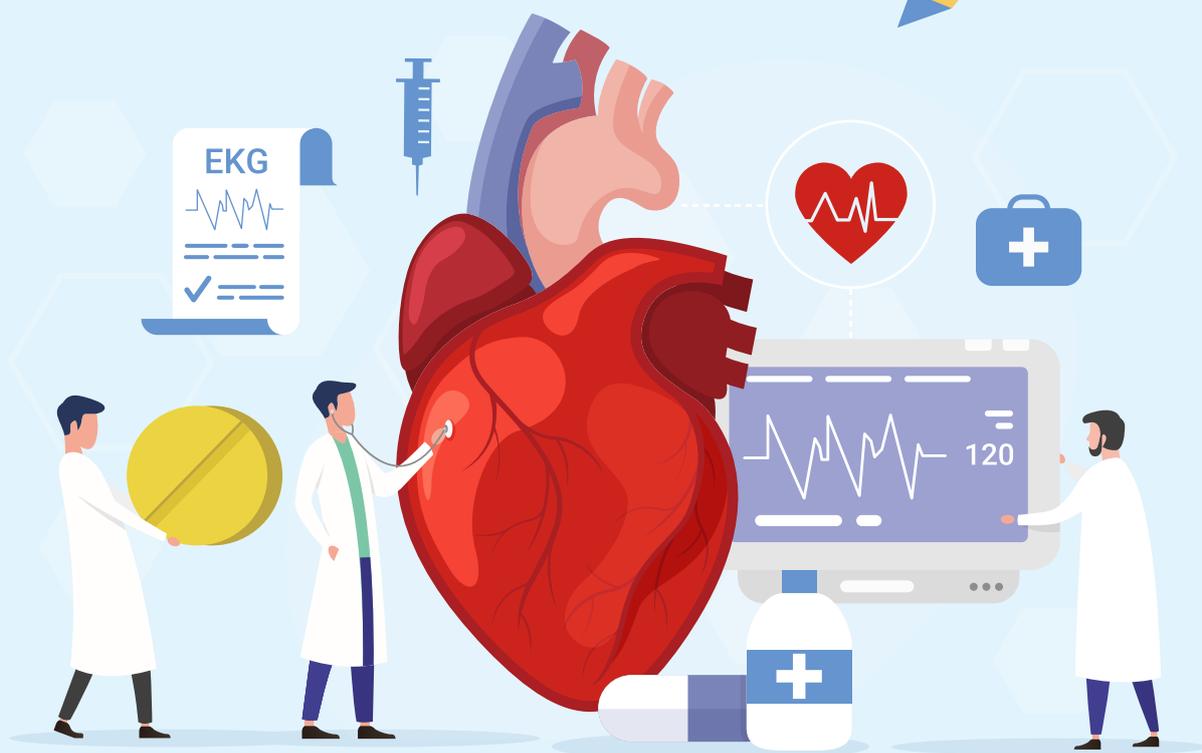
夏の今から備えよう

冬場に気を付けたい

# 心臓病

ご自由にお持ちください

Take  
Free



禁煙  
NO Smoking

当院は健康増進法第25条に基づき、「館内・敷地内全面禁煙」です。ご協力をお願いいたします。

## ご挨拶 院長 山崎 誠治

当院は、北海道において救急受け入れ実績ナンバー1を誇り、「断らない医療」を理念に掲げ、地域の皆さまの健康と命を守るべく尽力してまいりました。

今年4月より、所謂「スーパーICU」が稼働し、集中治療の充実を図ることで、救急医療のさらなる強化に努めております。初夏に向けて交通外傷や熱中症の患者さまが増加することが予想されますが、迅速かつ適切な対応を行えるよう準備を整えております。

また、地域住民の皆さまのみならず、地方や離島の医療支援体制の充実を図り、応援医療にも積極的に取り組んでいます。さらに、TMAT・DMATを通じて国内外の災害支援にも力を注ぎ、必要な医療を迅速に届ける使命を果たしてまいります。

志を一つにした1,100名の職員とともに、患者さまに寄り添いながら全力で尽力していく所存です。今後とも、当院へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## 暑中お見舞い申し上げます 看護部長 渡邊 綾

地球温暖化により年々暑さが厳しく、日本列島の中でも「涼しい夏」と言われた北海道でもクーラーが必要な時代となっております。皆さまは暑い夏を乗り切るためにどのような工夫をされていますでしょうか。室内でも熱中症になる危険性があるため、「こまめな水分補給」を心がけたいですね。具体的には室内でも、外出時でも、のどの渇きを感じていなくてもこまめに水分補給をすることです。熱中症警戒アラートに注意して北海道の短い夏を健康的に過ごしたいですね。

札幌東徳洲会病院では4月に45名の新人看護師を迎え5か月が経とうとしております。看護技術の研修を行いながら患者さまの「心にとどく看護」を提供するため職員一同努力してまいります。



## 当院の理念・方針

- 生命を安心して預けられる病院
- 健康と生活を守る病院

- 「年中無休・24時間オープン」で、救急医療を提供します。
- 病気の治療だけでなく、健康増進と病気予防を推進します。
- 安全管理の徹底に努め、安心できる医療の提供を目指します。
- 医療技術・診療態度の向上に絶えず努力します。

特集

夏の今から備えよう

冬場に気を付けたい

# 心臓病

がんに次いで日本人の死因第2位を占める心臓病(心疾患)は、11月から3月の冬期に多発する傾向があります。心臓病について事前に知識を持つことで、予防に役立てるよう今から備えておきましょう。今回は、なぜ冬期に心臓病が多いのか、心臓病の種類、心臓病の予防について循環器内科の山崎院長に伺いました。

すこやか VOL. 236

2025年夏号 8▶10

I N D E X

ご挨拶

院長 山崎 誠治 / 看護部長 渡邊 綾 ..... 2

特集

夏の今から備えよう  
冬場に気を付けたい心臓病 ..... 4

医療連携

医療法人ネフロハス 札幌東ネフロクリニック ..... 8

院内紹介

带状疱疹ワクチンが定期接種に  
札幌もいわ徳洲会病院に改称予定 ..... 9

部署紹介

入退院支援センター 退院支援室 ..... 9

健康運動

冬ごもり中にも取り組める 心臓リハビリ ..... 10

健康レシピ

レモンでさっぱり ガパオライス ..... 11

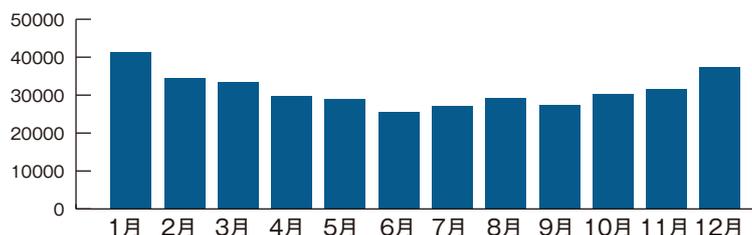
夏の今から備えよう  
冬場に気を付けたい **心臓病**

## ♥ 心臓病は冬場の発生が多い

## 原因①：寒さ

なぜ冬場に心臓病が多いのか、「血管」に焦点をあてて見てみましょう。人間の体は体温を一定に保つため、気温の変化に合わせて血管を引き締めたり、広げたりします。寒い時は体温を維持するために血管を細く引き締めます。細くなった血管に血液を送ろうと心臓が頑張ることで、血圧が上がります。逆に、暑い時は体温を下げるために血管が太く広がり、血圧が低下します。

循環器系の疾患 月別の死亡数(人)



厚生労働省「令和5年度人口動態統計月報(概数)／第4表 死亡数及び死亡率(人口10万対)、死因(死因简单分類)別」より

また、ヒートショックと聞いてピンとくる方も多いと思いますが、急激な温度変化や寒暖差で血圧が急変動することを指します。氷点下の屋外から暖かい室内に入るとき、お風呂場から寒い脱衣所に移動するときなど、普段行いがちな行動で血圧が40近くも変動する可能性があり、体調不良や重大な疾患の引き金になることがあります。高齢の方はヒートショックによる心疾患や脳血管疾患で亡くなる割合が高いことから注意が必要です。

## 原因②：運動不足と食生活

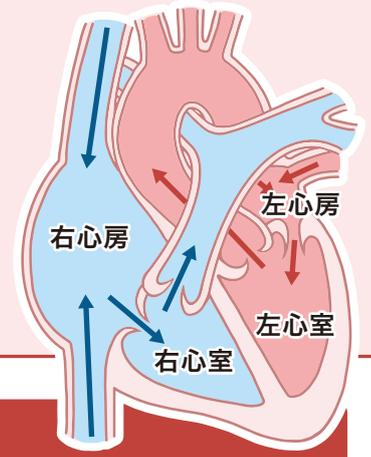
心臓病の発症には、動脈硬化、高血圧、高血糖、高脂血症などの生活習慣によって引き起こされる病気が大きく関わってきます。北海道の冬は積雪の影響で、雪のない時期に比べ外出の機会が減り、運動不足になりがちです。体重の増加により血管が圧迫されたり、体内の水分量が増えることで血流が増え血圧が上昇します。また、忘年会やお正月、新年会等、飲酒の機会が増えたり、塩分の多い食事を摂取することが増え、食生活の乱れから血圧が上昇し、心臓に負担がかかります。

このように、冬場は血圧のコントロールが難しく、この時期だけ治療が必要な状態になる方もいれば、もともと心臓に不調を抱えていらっしゃる方は悪化してしまう可能性もあるのです。

## ♥ 心臓病の種類

心臓は握りこぶしほどの大きさで、ほぼ胸の中央にあり、心筋と呼ばれる筋肉でできています。心臓は全身に血液を送るポンプの役割を果たし、電気信号により一定のリズムで拍動します。その数1分間に約70回(約5~6L)、1日にすると約10万回もの収縮と拡張を繰り返しています。心臓を動かすための血液や栄養を送る血管を冠動脈と

言い、人間には3本あります。また、心臓の中は4つの部屋に分かれており、血液の流れを一方通行にして逆流を防ぐために、それぞれの部屋の出口に弁があります。心臓病とは、心臓の構造や働きの異常により生じる病気の総称で、その中に「ポンプ機能」の異常で起こる**心不全**、「電気信号」の異常で起こる**不整脈**、「冠動脈」の病気で代表される**心筋梗塞**や**狭心症**、「弁」の病気である**弁膜症**などがあります。



## ♥ 心不全

心不全とは病名ではなく、ポンプとしての心臓の働きが弱り、全身に血液が十分に供給されない状態を表す言葉です。血液を全身に送るだけでなく、全身から心臓まで血液が戻ってくることも難しいため、血液が体内に滞留し(うっ血)、肺や足にむくみが起こることがあります。動悸、息切れや倦怠感などの症状も特徴です。原因や自覚症状は人によって様々ですが、死亡の原因となることもあります。ここでは、心不全の原因となる代表的な病気を2つご紹介します。

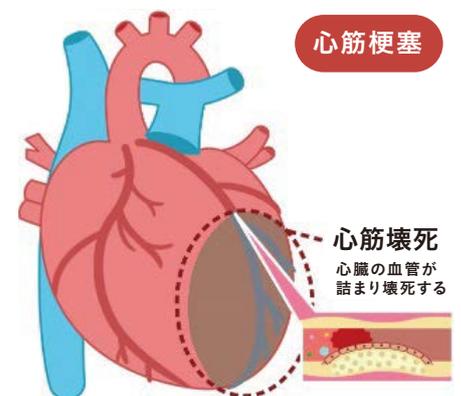
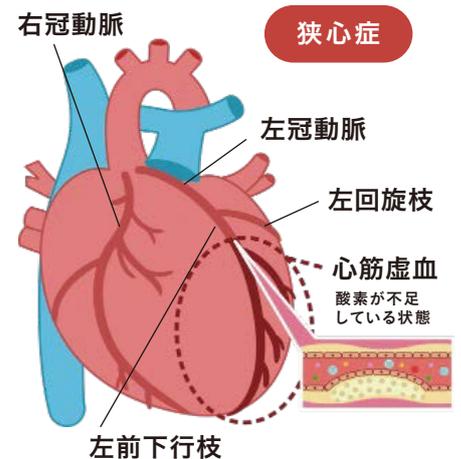
### 心筋梗塞、狭心症

心臓に血液や栄養を送る血管、**冠動脈**が**動脈硬化**や**血栓**により詰まると「心筋梗塞」、冠動脈内が狭くなり血流が減り一時的に酸素不足になった、詰まる一歩手前の状態を「狭心症」と言います。

「心筋梗塞」は突然死につながる非常に怖い病気です。代表的な症状として、突然の締め付けられるような強い胸の痛みや圧迫感が挙げられ、安静にしても改善しないのが特徴です。発症後、時間と共に心筋が壊死していきます。壊死の部分が大きくなると心臓がポンプとして機能なくなり、命に関わる状態となるため、いかに早くカテーテル検査のできる専門病院を受診し、治療を開始できるかが重要です。症状が出た場合は、迷わず救急車を呼んでください。

「狭心症」の症状は、胸だけが苦しくなるわけではありません。背中、肩、腕、胃部、喉、歯など、心臓から離れた場所が痛くなることもあり、痛みは数分から十数分持続します。階段を上ったり、坂道を歩いたりするなど、運動時に発作が出る労作時狭心症や、就寝中や明け方など、安静にしているときに起こる安静時狭心症などがあります。痛みの持続時間が徐々に長くなったり、発作の回数が増えているような場合は、心筋梗塞発症の危険性が非常に高い状態のため、すぐに受診する必要があります。

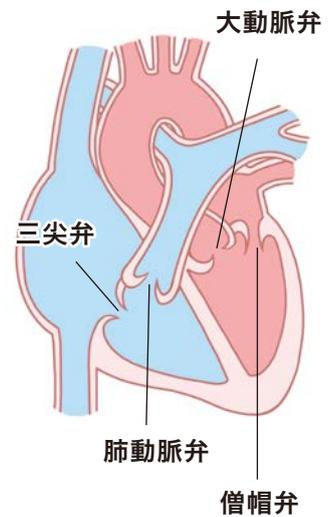
当院では24時間365日、救急受け入れ可能な治療体制を整えています。当院で2024年度に行われた、冠動脈の狭窄や閉塞の有無を調べるカテーテル検査の件数は1192件、冠動脈の狭窄や閉塞部をバルーン(風船)で押し広げ、血管を拡張し、血流を回復させるカテーテル治療の件数は628件です。



## ♥ 弁膜症

心臓には4つの逆流防止弁があり、心臓の左側に僧帽弁と大動脈弁、右側に三尖弁と肺動脈弁があります。弁膜症は心臓の左側にある僧帽弁と大動脈弁に多く起こる疾患で、弁の閉まりが悪く送り出した血液が逆流してしまう「閉鎖不全症」と、弁の開きが悪く血流が妨げられる「狭窄症」があります。自覚症状としては、動悸、息切れ、倦怠感、むくみといった心不全の症状が現れたり、不整脈が頻繁に見られたりします。

患者さまの訴えられる症状や病状の進行度、ご年齢や健康状態などにより治療法が異なります。症状が軽度の場合は薬物療法で経過観察することが多いです。当院では、外科手術が必要で、何らかの理由で手術を受けられない患者さまに向け、カテーテル治療を積極的に行っています。開胸する従来の外科手術よりも、体への負担が少なく、入院期間が短いメリットがあります。当院では弁膜症の専門外来も開設し、対象の患者さまの治療をサポートしております。2024年度に行われた、大動脈弁狭窄症に対するカテーテル治療（TAVI）の件数は277件です。



## ♥ 予防の一步は規則正しい生活習慣から

冬の心臓病予防のポイントを5つご紹介します。

### ① 体を冷やさない

暖房のきいた家の中から、屋外へ出るときには急激な温度変化があり、血圧が上がりやすいです。ちょっとした外出でも、手袋やマフラー、帽子などの防寒具を身につけ、暖かい服装を心がけましょう。

### ② 屋内の寒暖差をなくす

家の中にいても、暖かい場所と寒い場所の温度差によって血圧が上がります。特にヒートショックを起こしやすいのは浴室です。寒い脱衣所で裸になり、急に熱い湯船に入ったときや、体が温まったあとに寒い脱衣所に戻るときに発生しています。ポータブルストーブなどの暖房器具で、入浴前に浴室・脱衣所を暖める、入浴後に使用するタオルや衣類を暖めておくことで予防になります。

### ③ 意識的に水分補給をする

夏は汗をかき、喉が渇いたと感じやすいため水を飲みますし、熱中症予防のために積極的に水分を摂られている方も多いと思います。逆に、冬は汗をかきにくく、水分不足を感じにくいいため、意識しないと水分補給の機会が少なくなりがちです。水分不足は血液が濃縮され、ドロドロの状態になります。サラサラの状態と比べ、血流が悪く、酸素や栄養が効率的に行き渡らないため、心臓病のリスクが高まる可能性があります。冬場は乾燥も相まって、水分が不足しがちです。喉が渇いていなくても、こまめな水分補給を心がけましょう。

#### ④ 感染対策

風邪やインフルエンザなどの感染症は心不全を悪化させる要因になります。まずは手洗いを徹底しましょう。インフルエンザなどの季節性感染症は、流行時期の前に予防接種を受けることがポイントです。

#### ⑤ 規則正しい生活習慣

心臓病の発症は生活習慣と密接に関わっています。そのため、規則正しい生活を送ることが心臓病予防の第一歩です。最後に、日本心臓財団が提唱する「健康ハート10か条」をご紹介します。健康に過ごすための心臓の冬支度の参考になさってください。

### ♥ 健康ハート10か条 ♥

- ① 血圧とコレステロールを正常に。(太りすぎ、糖尿病には注意して)
- ② 脂肪の摂取は、植物性を中心に。
- ③ 食塩は調理の工夫で、無理なく減塩。(1日、6g未満を目標に)
- ④ 食品は、栄養バランスを考えて。(1日、30食品を目標に)
- ⑤ 食事の量は、運動量とのバランスで。甘いものには要注意。
- ⑥ つとめて歩き、適度な運動。
- ⑦ ストレスは、工夫をこらして上手に発散。
- ⑧ お酒の量は、自分のペースでほどほどに。
- ⑨ タバコは吸わない。頑固に禁煙。
- ⑩ 定期検診わすれずに。(毎年一度は健康診断)



循環器内科 / 院長 山崎 誠治

## 循環器内科 外来診療案内

「血圧が高い、胸が痛い・重苦しい、動悸や息切れがする、呼吸困難、疲れやすさ、全身のむくみ」などの自覚症状がある方、「心雑音がある」と言われた方は、循環器疾患かもしれません。当科では様々な診療機器での検査を基に診断を行い、患者さまに分かりやすい説明を心がけています。気になる症状があれば気軽にご相談ください。

受付時間	診療開始	月	火	水	木	金	土
7:00 ~ 11:30	9:00	○	○	○	○	○	○
16:00 ~ 19:00	17:00	○	○	○	○	○	—



医療 TOPICS

地域連携施設のご紹介

# つなげる地域の輪



当院では地域の医療機関および介護・福祉施設と連携し、退院後も適切な医療・福祉サービスを受けられるよう地域との連携構築に取り組んでいます。



医療法人 ネフロハス

## 札幌東ネフロクリニック

### 当院の特徴

当院では、循環器・糖尿病・代謝内分泌内科の診療と血液透析・腎臓内科の診療を2名の専門医で分担しております。待ち時間の軽減や感染対策の観点から、完全予約制をとっております。

また、多様化する医療ニーズにお応えするために、最新の医療設備を取りそろえ皆様の健康をバックアップしていきます。

さらに、特に透析室は皆様が安心して治療に専念できるようホスピタリティの充実にも努め、つねに快適な医療環境のご提供を心掛けています。

### 当院の方針

日本人の半分は高血圧、高脂血症、糖尿病のうちどれかを持っています。喫煙、飲酒、肉食化、過食、運動不足などの生活習慣が原因のこれらの病気は、動脈硬化をもたらし心筋梗塞、脳出血や脳梗塞、腎不全(透析)などに至ります。その予防には正しい知識、生活習慣の改善、適切な薬物治療、合併症の早期発見と治療が重要です。

当院では循環器、腎臓(透析)を診る専門資格を持ったスタッフが治療を行い、専門的な検査・治療・入院については札幌東徳洲会病院をはじめ、道内多数の病院と連携しています。腎不全の治療、血液透析には特に力を入れています。

### 札幌東徳洲会病院との連携について

いつも迅速に快く対応していただき、非常に心強く感じております。先生方をはじめ、職員の皆様方にも大変感謝しております。引き続き、密接に連携を取らせていただければと思います。

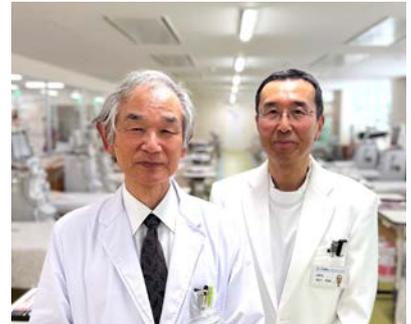
各診療時間		月	火	水	木	金	土	
循環器・糖尿病 代謝内分泌内科	9:00 ~ 12:00	○	○	△	○	○		水曜は隔週で休診 休診日/土・日・祝日
	14:00 ~ 17:00	○		△	○	○		
腎臓内科	10:30 ~ 12:00	○	○	○	○	○		水曜午後は隔週で休診 休診日/土・日・祝日
	14:00 ~ 17:00			△	○	○		
人工透析	9:00 ~ 15:00	○	○	○	○	○	○	休診日/日曜日

※完全予約制、お電話でご予約下さい

### 交通アクセス

〒065-0012 札幌市東区北12条東4丁目2番1号  
N12 イーstmメディカルビル 3F(駐車場あり)  
地下鉄東豊線 北13条東駅より徒歩6分  
地下鉄東豊線 東区役所前駅より徒歩7分

TEL: **011-214-1145**



院長 安藤 利昭(写真左)

担当: 循環器・糖尿病・代謝内分泌内科

●趣味・特技など: 特になし

副院長 滝沢 英毅(写真右)

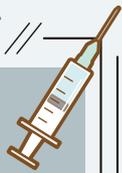
担当: 透析(血液・腹膜)・腎臓内科

●趣味・特技など: 登山・ハイキング



帯状疱疹ワクチンが

定期接種に



発症や重症化を防ぐため、令和7年4月より帯状疱疹ワクチンが国の推奨する定期接種になりました。定期接種による公費負担を受けられる機会は、生涯に一度だけです。当院でも定期接種の対応が可能です。また、任意の接種も対応します。今回対象となる方、助成に関してはお住まいの市町村にお問い合わせください。

札幌市ホームページ



札幌もいわ徳洲会病院に改称予定

2024年2月、徳洲会グループとなった中央区の札幌外科記念病院は、札幌もいわ徳洲会病院へと改称予定です。7月4日時点で改称手続き中の同院は、藻岩山麓で40余年、地域に根差した医療を行ってきました。「もいわ」の名を冠し、これからも地域の皆さまを支え、また支えられながら新しい一歩を踏み出します。札幌もいわ徳洲会病院に、今後もなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。住所、電話番号、診療内容等に変更はありません。



病院ホームページ



部署紹介

入退院支援センター 退院支援室

当院の入退院支援センターは、地域医療連携室・入院支援室・退院支援室・医療福祉相談室の4部署から成り立っています。今回は、退院支援室を紹介させていただきます。退院支援室は、看護師4名が在籍しており、医療福祉相談員と連携し、入院早期から患者さまとの面談、入院前の生活状況の確認、患者さま・ご家族の退院後の生活について意思確認等を行い、医師、病棟/外来看護師、リハビリスタッフ、訪問看護師、および外部の医療サービスを提供するスタッフ等と情報共有を行い、退院後の生活を見据えたチーム連携を図っています。患者さまのQOLを考え、その人らしい生活を送れるための最善の方法を患者さま・ご家族と一緒に考え、医療チームの要として退院支援や調整、在宅支援を行っています。また、退院支援看護師は退院前後訪問の実施や病棟において、スムーズでタイムリーな退院支援が行えるよう看護師の人材育成にも尽力しています。



退院支援室



カンファレンス風景



業務風景



積雪や寒さが厳しい北海道に暮らす私たちは、外出の機会が減り、運動不足になりがちです。運動は、心臓病の原因となる肥満や高血圧、糖尿病、メタボリック症候群などの改善に効果的です。適度に運動を実施することで、筋力を保ち、心臓病発症の予防につなげましょう!

## 自宅でできる心臓リハビリ

### 1. 有酸素運動

- まずは準備運動から始めます。
- 次に体力に合った運動を選びます(息が弾む程度の運動を20~30分程度)。
- 運動後は整理体操をします(5~10分程度)。

#### 整理体操とは

運動の後のクールダウンとして心身を落ち着かせ、筋肉の疲労回復を助けるための体操です。息をゆっくりと吐きながら、筋肉をゆっくりと伸ばすストレッチを行いましょう。

#### ポイント

- 運動の強さは右のボルグ指数を目安にします。
- 運動は準備体操・整理体操を含めて60分程度を目指します。
- 体力に合わせて2回に分けて実施しても良いでしょう。
- 週3~4回、可能なら毎日行いましょう。

#### 運動例



「13」を「息がはずむくらい」の運動とし、運動中の自覚症状が「11・13」となるように運動を実施しましょう!

ボルグ指数	自覚症状
20	
19	
18	
17	かなりきつい
16	
15	きつい
14	
13	ややきつい
12	
11	楽である
10	
9	かなり楽である
8	
7	非常に楽である
6	

表:ボルグ指数

### 2. 足の筋力をきたえる運動

- 痛みが出たり、痛みが増す時は速やかに中止しましょう。
- バランスが不安定な時は椅子や壁、手すりを使用しましょう。

#### ポイント

- 息はこらえず回数を数えながら実施しましょう。
- 10~15回を1セットとして、3セットを目標にしましょう。
- 頻度は週3回程度行いましょう。

理学療法士 片岡 由依

参考、画像出典 ①公益社団法人 日本理学療法士協会  
理学療法ハンドブック シリーズ4  
心筋梗塞・心臓病  
②特定非営利活動法人 ジャパンハートクラブ  
『心臓病と運動』シリーズ 弁膜症編  
心臓弁膜症とのつきあい方

#### 体重を支える筋肉をきたえよう

- ◆足を広げて立ち、スクワット運動をします
- ◆膝をしっかり曲げ、ゆっくりお尻を下ろします
- ◆膝を伸ばすときは、お尻をすばやく上げます



#### ふくらはぎの筋肉をきたえよう

- ◆肩はばに足を広げて立ち、背伸びをします
- ◆かかとをしっかりと上げ、ゆっくりと下ろします



#### お尻の筋肉をきたえよう

- ◆イスなどを持ち足を後ろにゆっくりあげます
- ◆体が前に倒れないようにしましょう
- ◆動かせる範囲でゆっくりと動かします



#### 足を開く筋肉をきたえよう

- ◆イスなどを持ち足をゆっくり外に開きます
- ◆体が横に倒れないようにしましょう
- ◆ゆっくり体が傾かない程度で動かします





## ★材料 (2人分)

鶏ひき肉	150g
ナス	1本
赤ピーマン	1/2個
玉ねぎ	1/4個
ニンニク	2かけ
生姜	1かけ
サラダ油	小さじ2
卵	2個
レモン汁	大さじ1
★オイスターソース	小さじ1
砂糖	小さじ1/2
バジルの葉	お好みの量
ご飯	茶碗2杯分

## ★作りかた

- ナスは2cm角に切る。赤ピーマンと玉ねぎは、1.5cm角に切る。ニンニクと生姜はみじん切りにする。
- フライパンにサラダ油小さじ1を中火で熱し、卵を割り入れ、目玉焼きを作って取り出す。
- フライパンに残りのサラダ油を弱火で熱し、ニンニクと生姜を炒める。香りが立ったら中火にし、鶏ひき肉を入れて炒める。肉がパラパラになったら、ナス、玉ねぎ、赤ピーマン、★の調味料、お好みでバジルの葉を加えて手早く炒め合わせる。
- 器にご飯を盛り、③をかけて、②をのせて完成。

## ～心臓への負担を減らすための減塩食のポイント～

## ①旬の野菜を積極的に取り入れる

野菜類に多く含まれるカリウムには、体内の余分な塩分(ナトリウム)や水分を尿と一緒に排泄し、塩分の摂り過ぎによる血圧の上昇を抑える作用があります。特に、旬の野菜は素材の味と香りが良く、栄養価が高いものが多いためおすすめです。

(※腎疾患、消化器疾患等で制限がある場合は、主治医の指示に従いましょう。)

## ②旨味、酸味、香辛料の活用

昆布・かつお節・きのこ類等の旨味を多く含むもの、わさび・生姜・ニンニク・しそ等の香りが良いもの、レモン汁・トマト・お酢等の酸味があるものを活用することで、薄味でも風味豊かに仕上がり、満足感のある味わいになります。今回のレシピでは、レモン汁を使用し、爽やかな酸味を加えています。

管理栄養士 大山 愛り

## 当院の専門外来

## 【予約制】不整脈外来

【毎週月曜日】	受付/07:00~11:30	診察/09:00~	担当医/谷友之
【毎月第1.3.5水曜日】	受付/07:00~11:30	診察/09:00~	担当医/谷友之

## 【予約制】いびき・無呼吸外来

【毎週月曜日】	受付/13:30~15:00	診察/14:00~	担当医/後平泰信
【毎週土曜日】	受付/07:00~11:30	診察/09:00~	担当医/後平泰信

## 【予約制】弁膜症外来

【毎週月曜日】	受付/14:00~16:00	診察/14:00~	担当医/榎田浩基
【毎週水曜日】	受付/13:00~15:00	診察/13:00~	担当医/山崎和正

## 【予約制】補聴器外来

【毎週火曜日】	受付/13:00~15:30	診察/13:30~	担当医/外来担当医
---------	----------------	-----------	-----------

## 鼠径ヘルニア外来

【毎週水曜日】	受付/07:00~11:30	診察/09:00~	担当医/深堀晋
---------	----------------	-----------	---------

## 【予約制】肝臓外来

【毎週金曜日】	受付/13:00~15:30	診察/13:00~	担当医/萩原正弘
---------	----------------	-----------	----------

## 【予約制】音声外来

【毎週火・金曜日】	受付/13:00~15:30	診察/13:30~	担当医/國部勇
-----------	----------------	-----------	---------

## 【予約制】巻き爪外来(保険外診療)

【毎週木曜日】	受付/13:30~15:00	診察/14:00~	担当医/大沼真廣
---------	----------------	-----------	----------

## 【予約制】脳血管内治療外来

【毎週火曜日】	受付/13:00~15:00	診察/13:00~	担当医/黒岩輝杜
---------	----------------	-----------	----------

# 外来診療表

内科	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30 診療/09:00~	●	●	※	●	●	

※ 予約患者のみ

循環器内科	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30 診療/09:00~	●	●	●	●	●	●
受付/16:00~19:00 診療/17:00~	●	●	●	●	●	

消化器内科	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30 診療/09:00~	※	※	※	※	※	

※ 予約患者のみ

炎症性腸疾患センター(IBDセンター)	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30 診療/09:00~	●	●	●	●	●	※
受付/12:00~15:00 診療/13:00~	※	※	※	※	※	
受付/16:00~19:00 診療/17:00~		※				

※ 予約患者のみ

呼吸器内科	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30 診療/09:00~	▲	▲	▲	▲	※	※
受付/16:00~19:00 診療/17:00~					※	

▲ 肺がん・肺腫瘍専門 ※ 予約患者のみ

呼吸器外科	月	火	水	木	金	土
受付/12:30~15:30 診療/13:00~		●		●		

小児科	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30 診療/09:00~	●	●	●	●	●	▲

▲ 第1・第3・第5のみ

外科	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30 診療/09:00~	※	●	●	●	●	
受付/16:00~19:00 診療/17:00~	●	●	●	●	●	

※ 予約患者のみ

乳腺外科	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30 診療/09:00~			●	●	▲	
受付/13:00~15:30 診療/13:00~		●				

▲ 第1・第3・第5のみ

形成外科	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30 診療/09:00~	●	●	●	●	●	
受付/16:00~19:00 診療/17:00~	●		●			

麻酔科	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30 診療/09:00~		●			●	

新患は紹介患者のみ

※都合により診療時間・担当医の変更や休診となる場合がございます。ご了承ください。  
 ※健康診断・人間ドックにつきましては、「完全予約制」をとっております。お電話にてお問い合わせください。

脳神経外科	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:00 診療/09:00~		●	●	●	※	●

※ 予約患者のみ

泌尿器科	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30 診療/09:00~				●		

眼科	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:00 診療/09:00~	●	●	●	●	●	
受付/13:00~16:00 診療/13:30~		※			※	
受付/16:00~19:00 診療/17:00~		▲				

▲ 第2・第4のみ ※ 予約患者のみ

耳鼻咽喉科・頭頸部外科	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30 診療/09:00~	●	●	●	●	●	●
受付/13:00~15:30 診療/13:30~	●	※	●	●	●	

※ 予約患者のみ

整形外科	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:00 診療/09:00~	●	▲	●	●	●	

▲ 新患受付は午前 10:00 まで

心臓血管外科	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30 診療/09:30~		●		●	●	●

皮膚科	月	火	水	木	金	土
受付/16:00~19:00 診療/17:00~		●		●		

放射線診断科	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30 診療/09:00~			●			

放射線治療科	月	火	水	木	金	土
受付/08:00~11:30 診療/09:00~	●	●	●	●	●	
受付/13:00~16:00 診療/13:30~	●	●	●	●	※	

※ 予約患者のみ

整形外科外傷センター	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30 診療/09:00~	※	※	※	※	※	

※ 予約患者のみ

歯科口腔外科	月	火	水	木	金	土
受付/08:30~11:30 診療/09:00~	●		●	※		※
受付/13:00~16:30 診療/13:00~	●		●	※		

新患受付は午前 11:00 / 午後 16:00 まで ※ 予約患者のみ

**急病の方はいつでも受け付けております。**

医療法人徳洲会  
**札幌東徳洲会病院**  
[www.higashi-tokushukai.or.jp](http://www.higashi-tokushukai.or.jp)



〒065-0033 札幌市東区北33条東14丁目3-1  
 Tel.011-722-1110 (代表)

## ACCESS

- 地下鉄** 東豊線 新道東駅 5番出口より 徒歩約5分
- 地下鉄** 南北線 北34条駅にて  
 ▶中央バス東76・東78で乗車  
 ▶北34条東12丁目駅で下車 徒歩約1分
- 中央バス**
- 自家用車** (高速道路) ▶伏古インター / 札幌北インター 約5分  
 駐車場180台収容可能(一部有料)

**LINE 友だち募集!**



## 日本医療機能評価



当院では、患者さまへ安全かつ高度な医療を提供するため、継続的に改善する取り組みの一環としてこの「病院機能評価」の認証を利用しています。病院機能評価とは日本の病院を対象に、組織全体運営管理および提供される医療について、日本医療機能評価機構が中立的、科学・専門的な見地から評価を行うツールで、患者中心の医療の推進、良質な医療の実践、理念達成に向けた組織運営から構成される評価項目を用いて評価され、一定の水準を満たした病院は認定病院となります。

※日本病院機能評価機構ホームページ：jcghc.or.jp

## 外国人患者受入れ医療機関認証制度



当院では、外国人患者受入れに関する認証制度「JMIP」の認証を取得しています。JMIPとはJapan Medical Service Accreditation for International Patientsの略称であり、日本語での名称は外国人患者受入れ医療機関認証制度です。厚生労働省が「外国人の方々へ安心・安全に日本の医療サービスを楽しむことができるように」、外国人患者の円滑な受け入れを推進する国の事業の一環として策定し、一般社団法人日本医療教育財団が医療機関の外国人受け入れ体制を中立・公平な立場で評価する認証制度です。

※外国人患者受入れ医療機関認証制度ホームページ：jmip.jme.or.jp